瀬戸内海歴史民俗資料館

令和４年６月 23 日（木曜日）
瀬戸内海歴史民俗資料館
(香川県立ミュージアム分館)
担当　真鍋貴匡　TEL 087-881-4707

聴講者募集
無料

令和4年度 第２回れきみん講座

「くらしの道具の発明」

小さい表示から分かる発明や考案を知る!

くらしの道具には小さな番号が付されているものがあります。その番号を調べると、明治時代から始まった実用新案や特許制度に基づくことが分かります。

本講座では、その小さな番号を追跡し分かった、香川県内の明治時代から昭和初期の道具にみえる発明や考案の取組みを紹介します。

大改良赤井式唐箕（とうみ）に付された金属ラベル
写真の矢印の位置に付された金属ラベルに実用新案番号が４つ記されている。

◆ 日　時　　令和４年７月23日（土）
午前の部　１０：００～１１：００
午後の部　１３：３０～１４：３０
※新型コロナウイルスの感染状況により延期や中止になる場合があります。

◆ 会　場　　瀬戸内海歴史民俗資料館 研修室　（高松市亀水町 1412-2　五色台山上）

◆ 講　師　　専門職員　真鍋貴匡

◆ 定　員　　各回１４名（先着順）

◆ 聴講料　　無料

◆ 申し込み方法　電話でお申し込みください。
※氏名・電話番号・講座名（午前・午後）をお伝えください。

◆ 申し込み期間　６月２３日(木)から　定員になり次第終了

◆ 申し込み先　　TEL087 - 881 - 4707（瀬戸内海歴史民俗資料館）

講座に関連するテーマ展「くらしの道具の技術革新-実用新案と特許-」は、７月９日（土）～11 月６日（日）の間、当館の第９・10 展示室において開催します。